

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成23年3月17日(2011.3.17)

【公開番号】特開2009-212852(P2009-212852A)

【公開日】平成21年9月17日(2009.9.17)

【年通号数】公開・登録公報2009-037

【出願番号】特願2008-54069(P2008-54069)

【国際特許分類】

H 04 M 3/56 (2006.01)

【F I】

H 04 M 3/56 C

H 04 M 3/56 B

【手続補正書】

【提出日】平成23年2月1日(2011.2.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

それぞれの再生音量を変更可能な複数の音声出力装置に接続された情報処理装置であつて、

複数の音声入力装置により入力された音声データのそれぞれをネットワークを介して受信する受信手段と、

前記複数の音声入力装置のうち第1の音声入力装置により入力された第1の音声データ及び第2の音声入力装置により入力された第2の音声データが前記複数の音声出力装置のうち第1の音声出力装置へ出力され、前記複数の音声入力装置のうち第3の音声入力装置により入力された第3の音声データが前記複数の音声出力装置のうち第2の音声出力装置へ出力されるように、前記受信手段が受信した音声データの出力先を決定する決定手段と、

前記第1及び第2の音声入力装置により入力された前記第1及び第2の音声データを前記第1の音声出力装置へ出力するため前記決定に応じてミキシングするミキシング手段と

を有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】

前記決定手段は、前記第1及び第2の音声データを前記第1の音声出力装置へ出力し、前記第3の音声データを前記第2の音声出力装置へ出力することを、利用者の入力に基づいて決定することを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】

前記決定手段は、前記第1及び第2の音声データを前記第1の音声出力装置へ出力し、前記第3の音声データを前記第2の音声出力装置へ出力することを、前記音声入力装置及び前記音声出力装置の機種に基づいて決定することを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項4】

前記決定手段は、前記第1及び第2の音声データを前記第1の音声出力装置へ出力し、前記第3の音声データを前記第2の音声出力装置へ出力することを、第1の基準位置と前記第1及び第2及び第3の音声入力装置のそれぞれとの位置関係に応じた情報、及び、第

2の基準位置と前記第1及び第2の音声出力装置のそれぞれとの位置関係に応じた情報に基づいて決定することを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項5】

前記決定手段は、前記第1及び第2の音声データが、前記第1及び第2の音声入力装置に優先度が対応する前記第1の音声出力装置へ出力され、前記第3の音声データが、前記第3の音声入力装置に優先度が対応する前記第2の音声出力装置へ出力されるように、前記第1及び第2及び第3の音声入力装置の優先度と前記第1及び第2の音声出力装置の優先度に基づいて出力先を決定することを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項6】

前記受信手段は、前記第1及び第2及び第3の音声入力装置が接続された第1の情報処理装置と、第4及び第5の音声入力装置が接続された第2の情報処理装置から音声データを受信可能であり、

前記決定手段は、

前記第1の情報処理装置から音声データを受信している場合、前記第1及び第2の音声入力装置により入力された音声データが前記第1の音声出力装置へ出力され、前記第3の音声入力装置により入力された音声データが前記第2の音声出力装置へ出力され、

前記第1及び第2の情報処理装置から音声データを受信している場合、前記第1及び第2及び第3の音声入力装置により入力された音声データが前記第1の音声出力装置へ出力され、前記第4及び第5の音声入力装置により入力された音声データが前記第2の音声出力装置へ出力されるように、前記受信手段が受信した音声データの出力先を決定することを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項7】

音声入力装置により入力された音声データが、前記出力先として決定された複数の音声出力装置で出力されるように分配する分配手段を有することを特徴とする請求項1乃至6のいずれか1項に記載の情報処理装置。

【請求項8】

前記受信手段は、前記決定手段により決定された出力先の変更のための指示を前記ネットワークを介して受信し、

前記情報処理装置は、更に、

前記受信した指示に応じて前記決定手段により決定された出力先を変更する変更手段を有することを特徴とする請求項1乃至7のいずれか1項に記載の情報処理装置。

【請求項9】

前記決定手段により決定された出力先の変更のための指示を入力する入力手段と、

前記入力に応じて前記決定手段により決定された出力先を変更するための変更手段とを更に有することを特徴とする請求項1乃至7のいずれか1項に記載の情報処理装置。

【請求項10】

それぞれの再生音量を変更可能な複数の音声出力装置に接続された情報処理装置が行う制御方法であって、

複数の音声入力装置により入力された音声データのそれぞれをネットワークを介して受信する受信工程と、

前記複数の音声入力装置のうち第1の音声入力装置により入力された第1の音声データ及び第2の音声入力装置により入力された第2の音声データが前記複数の音声出力装置のうち第1の音声出力装置へ出力され、前記複数の音声入力装置のうち第3の音声入力装置により入力された第3の音声データが前記複数の音声出力装置のうち第2の音声出力装置へ出力されるように、前記受信工程が受信した音声データの出力先を決定する決定工程と、

前記第1及び第2の音声入力装置により入力された前記第1及び第2の音声データを前記第1の音声出力装置へ出力するために前記決定に応じてミキシングするミキシング工程と

を有することを特徴とする制御方法。

【請求項 11】

それぞれの再生音量を変更可能な複数の音声出力装置に接続されたコンピュータに、複数の音声入力装置により入力された音声データのそれをネットワークを介して受信する受信手順と、

前記複数の音声入力装置のうち第1の音声入力装置により入力された第1の音声データ及び第2の音声入力装置により入力された第2の音声データが前記複数の音声出力装置のうち第1の音声出力装置へ出力され、前記複数の音声入力装置のうち第3の音声入力装置により入力された第3の音声データが前記複数の音声出力装置のうち第2の音声出力装置へ出力されるように、前記受信手順において受信した音声データの出力先を決定する決定手順と、

前記第1及び第2の音声入力装置により入力された前記第1及び第2の音声データを前記第1の音声出力装置へ出力するために前記決定に応じてミキシングするミキシング手順と

を実行させることを特徴とするプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】情報処理装置ならびに情報処理装置の制御方法

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明は上記課題に鑑みてなされたものであり、複数の音声出力装置が接続された情報処理装置において受信した複数の入力音声の中の特定の入力音声の音量を変更できるようにすることを目的とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

上記の目的を達成するために本発明に係る情報処理装置は以下のよう構成を備える。即ち、

それぞれの再生音量を変更可能な複数の音声出力装置に接続された情報処理装置であつて、

複数の音声入力装置により入力された音声データのそれをネットワークを介して受信する受信手段と、

前記複数の音声入力装置のうち第1の音声入力装置により入力された第1の音声データ及び第2の音声入力装置により入力された第2の音声データが前記複数の音声出力装置のうち第1の音声出力装置へ出力され、前記複数の音声入力装置のうち第3の音声入力装置により入力された第3の音声データが前記複数の音声出力装置のうち第2の音声出力装置へ出力されるように、前記受信手段が受信した音声データの出力先を決定する決定手段と、

前記第1及び第2の音声入力装置により入力された前記第1及び第2の音声データを前記第1の音声出力装置へ出力するために前記決定に応じてミキシングするミキシング手段とを有する。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明によれば、複数の音声出力装置に接続された情報処理装置において受信した複数の入力音声の中の特定の入力音声の音量を変更できるようになる。